

労務管理・民事・医療の各専門家から学ぶ

# メンタルヘルス総合対策セミナー

主催：愛知県下各労働基準協会 実施機関：一般社団法人 名北労働基準協会

わが国の精神疾患患者数は平成26年で約392万人と、過去15年間で約2倍近くに増加しております。なお、1年間の精神障害経験者が8.8%、うつ病経験者が2.9%との医学博士による統計、また、過去3年間に休職者が発生した企業が52%との政府関係機関の統計もあります。

なお、労働者がメンタル不調となった場合、能率、勤労意欲が低下し、欠勤、休職となり、大人材難の中、多大なる経費をかけ育成した人材を退職、解雇で失うこととなります。このような状況に陥ると、急な欠員により同僚に負荷をかけ、対応する労務担当者の時間を奪い、メンタル不調の原因が企業にある場合には、訴訟等の労使紛争で多額の賠償を求められ、企業の名誉まで失うこともあります。

メンタル休職率が高まると企業の売上・利益が下がるとの統計もあり、不調者発生の予防と職場復帰支援を中心としたメンタルヘルス対策は、企業の繁栄・衰退に直結する労務管理最大の課題です。

国も数々のメンタルヘルス対策を推進しており、平成27年12月にはストレスチェック制度が創設されましたが、医師による面接指導の実施率は極めて低い状態です。まだまだ、有効な対策が取られておらず、平成28年度の精神障害労災請求件数は1,586件と過去最高、支給決定件数は498件と過去2番の多さとなっております。

そこで、各分野の専門家から体系的なメンタルヘルス対策を学ぶ「メンタルヘルス総合対策セミナー」を開催いたします。

労働者の健康確保と企業の繁栄のため、ご関係の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。



日時

平成30年1月23日(火) 9時30分～16時30分

講師



## 「産業カウンセラーから見た企業に求められるメンタルヘルス対策」

フローリッシュ社労士事務所 所長  
一般社団法人 名北労働基準協会 メンタルヘルス相談室長  
シニア産業カウンセラー・特定社会保険労務士 新美智美氏

【プロフィール】  
シニア産業カウンセラー・特定社会保険労務士として、数多くの企業からメンタルヘルス等の相談を受ける。また、行政関係や名北協会が主催するメンタルヘルス研修、社員研修等の講師も行っており、中でも協会で実施する出張労働劇「まさかパワハラ加害者になるなんて」の脚本・劇中の解説を務め、企業の担当者から好評を得ている。



## 「弁護士からみた精神障害発症時の企業責任と求められる安全配慮義務」

森法律事務所 所長 弁護士 森美穂氏

【プロフィール】  
神戸大学法学部卒。平成14年弁護士事務所を開設。事業主団体等での労働問題に関する講演が多く、メンタルヘルス・ハラスメント問題での講演、執筆も行う。経営法曹会議会員。愛知労働局紛争調整委員。愛知県中小企業特別労働相談員。元三重県労働委員会公益委員、元愛知県男女共同参画審議会委員



## 「精神科を専門とする産業医が実践するうつ病の一次・二次・三次予防」

株式会社デンソー  
健康推進部担当部長 産業医(精神科医) 吉田契造氏

【プロフィール】  
精神科専門医、精神保健指定医、医学博士。  
名古屋大学医学部精神科にて講師を務めていたが、非常勤で派遣された株式会社デンソーにて、産業医という仕事に遭遇し、ついには、そちらが本職になってしまった。精神科を専門とする専属産業医という、非常に珍しい存在である。いわゆる「対応困難事例」を一手に引き受け、日々、奮闘しつつ、臨床精神医学と産業精神保健、双方の豊富な見識経験に基づき、講演や学会を通じて、実践的啓発活動を行っている。

会場

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

対象

経営者、保健師、  
労務人事/衛生管理部門の責任者・担当者  
社会保険労務士 など

会費

会員 9,250円  
非会員 11,310円 (税を含む)

定員

150名

